

拠出金名:植物新品種保護国際同盟拠出金

国際機関等名	植物新品種保護国際同盟 (英文名称・略称) International Union for the Protection of New Varieties of Plants (UPOV)					
種 別	国連本体		国連専門機関		◀ その他 ▶	
所轄官庁担当局課名	農林水産省生産局種苗課					
最近3年間の我が国支払額及び拠出率、ODA率						
	金 額				拠出率(%) (注1)	ODA率(%)
単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千ドル)	外貨2 (千スイスフラン)	レ ー ト		
平成16年度	14,467		174	1CHF= 83円	(2004年)	100
平成15年度	14,119		174	1CHF= 81円	(2003年) 100	100
平成14年度	12,376		174	1CHF= 71円	(2002年) 100	100
事業(プロジェクト)への拠出						
拠出上位5ヶ国				国際機関等の財政 (2004年度決算)		
	国 名	(千スイスフラン)	率(%)	当該年度の収入 174,300,00スイスフラン		
1位	日本	174	100	当該年度の支出 137,253,65スイスフラン		
2位				次年度への繰越 37,046,35スイスフラン		
3位				会計検査機関名		
4位				Swiss Federal Audit Office		
5位				(現在の構成員の出身国:スイス)		
上記の率及び順位は2003年度のもの						
当該機関に対する我が国としての評価(当該国際機関の政策に対する我が国の意見の反映度を含む)						
UPOVは植物品種に関する唯一の国際機関として、植物の種類毎に品種を審査する際の基準の作成、国際的な審査の推進を実施すると共に、植物品種保護制度を有しない国へのセミナー等による普及啓蒙や、保護制度の運用に経験の浅い国に対する技術的支援等多岐にわたる活動を精力的に実施している。さらに、我が国の要求に応じ主要な関心国に対して重点的に活動を行っており、これらの活動等を我が国として高く評価している。						
合理化、機能強化のための改革が行われているか。 行われている場合はその現状と我が国としての評価						
1978年時点で加盟国10カ国に対し事務局8名(専門職4, 一般職4)で運営されていたが、2005年7月現在、加盟国59カ国(EUを含む)に対し11名(専門職7, 一般職4)で運営しており、合理化等が実施されているため評価できる。						
邦人職員数 うち幹部以上	1人 うち 0人	当該機関の職員数及び 邦人職員が職員全体にしめる率	11人 9.1%			
邦人職員が占めている幹部ポスト						
ポストの名称		職 員 氏 名		備 考		
当該機関重要ポストへの邦人職員送り込みについての具体的な計画						

(注1) 我が国と各国とは会計年度が異なるため、拠出率については暦年(2002年～2004年)。UPOVの会計年度は2年にわたるため、2004年の拠出率については、2006年秋に開催予定の理事会において公表される予定。